

# 埼玉県鴻巣市立吹上北中学校



コ ス モ ス  
秋 桜



学校だより 第9号

学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 一夢・学・恕一 令和元年12月2日発行

〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-437-1471

ホームページ <http://fukiagekita-j.konosu.de.jp/> E-mail : [fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp](mailto:fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp)

「少なくとも三兎を追え」

校長 関根 茂夫

今年も年末、12月を迎えました。駅周辺でもイルミネーションの準備が進められ、テレビやラジオからは毎年のことながらクリスマスソングが流れ始めています。

そんな年末の風景が私は大好きです。もう私の家の2人の子どもたちも、家から出てそれぞれの生活を始めているため、サンタさん・・・といった夢のある話は皆無になってしまいましたが、やはりイルミネーションを見たり、クリスマスソングを聞くと心がワクワクしてきます。

同時に、私の好きな年末から新春にかけて行われる各種高校スポーツ全国大会の県予選で頑張る本気の高校生姿を見られることも、私がこの季節がお気に入りの要因です。

野 球	：◎花咲徳栄 ○西武台	サッカー	：◎昌平 ○西武台
男子バスケ	：◎正智深谷 ○埼玉栄	女子バスケ	：◎埼玉栄 ○昌平
男子バレー	：◎埼玉栄 ○正智深谷	女子バレー	：◎細田学園○狭山ヶ丘
男子駅伝	：◎埼玉栄 ○武蔵越生	女子駅伝	：◎昌平 ○埼玉栄
ラグビー	：◎浦和 ○川越東		

上の表は、この今年の秋以降行われた主な高校スポーツの埼玉県予選の結果です。◎が優勝校、○が準優勝校です。そして、野球を除く優勝校がこれから全国大会に「埼玉県代表」として出場することになっています。

この高校名をあらためて見て、私は「オヤッ」と思いました。

「埼玉栄」「正智深谷」といった古豪、「昌平」「西武台」といった新興校にまず注目がいきますが、この表の中で1校だけ異なる？高校があることに気づいたのです。

それは、ラグビー優勝校の浦和高校です。

全国的にも高校スポーツ私立優勢の流れではありますが、埼玉県でも同様にいずれの競技も浦和高校以外の優勝校、準優勝校は全て私立高校です。

では、なぜ県立浦和高校は、私立優勢の牙城を唯一崩し、優勝できたのでしょうか。

少なくとも勉強、部活動、学校行事の三兎を追え

「二兎を追う者は一兎も得ず」と世間ではいいますが、本校では「少なくとも三兎を追え」です。三兎とは、勉強、部活動、学校行事の三つです。

なぜ、三兎を追うのか。

それは、そのほうがワクワクして愉快だからです。受験勉強だけで大学に入った者は、社会で通用しないからです。

皆さんが競い合い関わり合う人は、勉強ができて当たり前の人々です。芸術やスポーツなどの文化資本を子どもの頃から身につけた人々です。幅広い教養や体験を積まなければ、競うことさえできません。役にも立ちません。人のため世のために役立つことに価値があるのであって、大学に合格すること自体に価値があるわけではないのです。

これは、元浦和高校校長、埼玉県教育委員会第18代教育長であられた関根 郁夫 氏の著書「少なくとも三兎を追い—私の県立浦和高校物語」の中で紹介されているもので、関根氏が初めて校長として浦高生の前に立った平成21年度の入学式と始業式で生徒に語りかけた校長講話だそうです。

埼玉県を代表する高校、いや全国でも有数の公立高校だから語れる、といった面もあるとは思いますが、確かに実際の浦和高校はいわゆる「受験猛者」の集団ではないようです。

現状を分析し、課題を洗い出し、解決に向けての方策を仲間と考え、試行錯誤を繰り返しながらも継続的に努力する……その繰り返しを日々体現しているのが浦高生ようです。

先制、勝ち越しのトライは、ともに浦和の得意とするマイボールラインアウトからモールで押し込んだ。在校生、OBが駆け付けた大観衆の前で磨き上げてきた武器を思う存分に披露した。三宅監督は「苦しい試合展開だったが、FWがしっかり点を取って頑張ってくれた」と重圧に打ち勝った選手たちをねぎらった。

勝利を引き寄せたのは、最も確実で自信のある攻撃で奪った後半7分の勝ち越しトライだ。

敵陣左の22メートルライン付近のマイボールラインアウトからモールを形成したが、体格に分がある相手を簡単に押し込めずに苦しんだ。だが、FWリーダーのロック梯がボックスも加わるようにサインを送り、人数を増やすと前に進み始めた。

個々の力の差を数で補ったモールはゴールラインを越え、モールの最後尾のナンバー8松永がその場に抑え込んだ。松永は「一人一人がつかないでくれた」とチーム一丸で決めたトライを誇った。

モールの強さは浦和の伝統だが、今年のチームも最初からできたわけではない。自主性を重んじる三宅監督の指導の下、ラグビー経験者の松永、フッカー山際の2人を中心に選手たちが話し合っつくり上げてきた。松永が「今年はアタックも強い」と自信を持っているほどの完成度に仕上がった伝家の宝刀が思うように決まった。

今季の公式戦で県内無敗のまま聖地・花園に乗り込む。主将の松永は「浦高ラグビー部のスローガンの『謙虚でひたむきに』を心がけ、戦っていきたい」と力を込める。伝統校の重みを背負いながら、6年前に初戦で敗退した先輩たちの雪辱を果たしにいく。

令和元年11月7日 埼玉新聞 朝刊より

奇しくも、今年はラグビーW杯で日本代表が目標であったベスト8入りを果たし、ラグビー熱が高まっています。

きっと、浦高ラグビーのメンバーも関根元校長の教えを引き継ぎラグビーだけではなく、三兎を追い続け、その結果勝ち得た全国大会の切符なのだと思います。

浦和高校には全く関係ない私ですが、“県公立の雄”浦和高校ラグビー部の12月27日から大阪・花園ラグビー場で行われる全国高校ラグビー選手権での雄姿が今から楽しみです。



## 【11月の学校生活より Ⅰ】

《後期生徒総会 11月7日》



《薬物乱用防止教室 11月22日》



## 令和元年冬の交通事故防止運動実施要綱 (埼玉県交通安全対策協議会より)

- 交通ルール
- 自転車の乗り方 等  
今一度、ご家族で話題  
にしてみてください。

### 1 目的

本運動は、広く県民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることで、人や車の動きが慌ただしくなり、交通事故の多発が懸念される年末の交通事故防止の徹底を図ることを目的とする。

### 2 実施期間

令和元年12月1日(日)から14日(土)までの14日間

### 3 統一行動日

- 12月 6日(金) 飲酒運転根絶の日・子供と高齢者事故防止の日
- 12月10日(火) 交通事故死ゼロを目指す日・夕暮れ時と夜間の事故防止の日

### 4 スローガン

【人も車も自転車も 安心・安全 埼玉県】



#### <自転車の運転者>

- ・自転車は車両との認識を持ち、原則車道の左端を通行しましょう。
- ・歩道を通行する場合は車道寄りを徐行し、歩行者優先を徹底しましょう。
- ・一時停止標識のある交差点や見通しの悪い交差点では、一時停止や徐行の上、確実に安全確認をしましょう。
- ・無灯火運転や二人乗り、傘差し運転、イヤホン、スマートフォン等の使用は、絶対にやめましょう。
- ・自転車を利用する場合は、必ず自転車損害保険等に加入しましょう。

## 【11月の生活より II】

《PTA&奉仕委員会花植え 11月6日》



《租税教室 11月28日》



先月号の学校便りに、ペットボトルキャップ・アルミ缶の回収日を載せましたところ、地域の方からたくさんのご寄付を頂戴致しました。丁寧に洗ってくださり、個数も数えていただいております。本当にありがとうございました。いただいたペットボトルキャップやアルミ缶は、専門の業者に回収を依頼し、海外の貧困地域のワクチンやなどの費用に充てられています。個数は把握の必要はありませんので(キログラムで報告されます)、洗って、お持ちいただければ十分です。

次回の回収は、次号に載せますので、もしもご協力いただける方がいらっしゃいましたら、よろしくおねがいいたします。